

(2)研究科の概要

①医療系研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

【医療系研究科】

医療系研究科では、基礎医科学と臨床医学との密接な連携を可能にするプロジェクト教育体制を布くとともに、人間性についての洞察力を持つ研究者や全人的医療を志向する専門職を養成するため、医療人間科学分野の科目を必修としています。さらに、専門職の受験資格を取得できるコースも設置しています。これらの取り組みを通じて、時代のニーズにかなった科学的洞察力を持つ高度専門職・教育者・研究者を養成することを教育の目的としています。

【医科学専攻（修士課程）】

医療系研究科医科学専攻（修士課程）では、先進的な医科学の知識と技術を備えた教育・研究者及びチーム医療に貢献できる高度専門職業人を養成するため、(1) 臨床医科学のみならず基礎医科学の視点からも問題を解決できる能力、(2) 多様な臨床課題を分析し、チーム医療の下で解決に導くことができる能力 (3) 医療倫理に関する高い見識に基づいた医療を実践できる能力の涵養を教育の目的としています。

【医学専攻（博士課程）】

医療系研究科医学専攻（博士課程）では、倫理に裏付けされた学識と独創的な研究能力を持つ教育・研究者及び先進医療を担う高度専門医療人を養成するため、(1) 基礎医学及び臨床医学の先端的研究に基づいた医療の発展に寄与できる能力、(2) チームの中心となって多様な臨床課題を解決し先進医療を担うことができる能力、(3) 人間性に対する深い洞察力により全人的医療を実践できる能力の涵養を教育の目的としています。

②教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【医療系研究科】

医療系研究科では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 医学・医科学の特定の専門領域の知識や研究動向を十分に学びふことができる授業を行います。
- (2) 専門領域の研究手法を身につけられる授業、研究指導を実施します。
- (3) チームの中で研究を進める力を高められる授業、研究指導を実施します。
- (4) 医学に関して高い見識を持つことができる授業を行います。
- (5) 医学・医科学研究や医療の専門家としての倫理観やコミュニケーション能力を身につけられる授業を行います。
- (6) 社会人としての教養・常識を具えることを目的として、専門科目に加えて、医療人間科学を含む共通教育科目と多様な内容の特別講義を実施します。

【医科学専攻（修士課程）】

医療系研究科医科学専攻（修士課程）では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 専門領域の全体像と研究動向が理解できる専門科目の授業を行います。
- (2) 研究手法を確実に学べる授業、研究指導を実施します。
- (3) チームの中で研究を遂行し、科学論文を論理的に構成する力を磨くことができる授業、研究指導を実施します。
- (4) 社会や医学の中での研究の位置づけを知る授業、研究指導を実施します。
- (5) 医科学研究や医療の専門家としての倫理観やコミュニケーション能力を身につけられる授業を行います。
- (6) 社会人としての教養・常識を具えることを目的として、臨床医科学と医療人間科学（共通教育科目）の授業を実施します。

〔医学専攻（博士課程）〕

医療系研究科医学専攻（博士課程）では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 専門領域の先端的な知識や研究動向を熟知できる授業を行います。
- (2) 先端の研究手法を身につけられる授業、研究指導を実施します。
- (3) チーム・リーダーとして研究を遂行し、国際的に通用する科学論文を作成する力を磨くことができる授業、研究指導を実施します。
- (4) 研究の意義を多面的に考える力を育てられる授業、研究指導を実施します。
- (5) 医学研究や医療のリーダーとしての倫理観やコミュニケーション能力を身につけられる授業を行います。
- (6) 社会人としての教養・常識を具えることを目的として、医療人間科学（共通教育科目）や特別講義を実施します。

③学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【医療系研究科】

医療系研究科では、基礎医科学と臨床医学との密接な連携を可能にするプロジェクト教育体制を布くとともに、人間性についての洞察力を持つ研究者や全人的医療を志向する専門職の育成を目的とします。こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 専門領域に関する全般的な知識と研究動向の把握
- (2) 必要な研究手法の習得
- (3) 医学・医科学研究や医療技術の専門家・リーダーとしての高い倫理観とコミュニケーション能力
- (4) チームの中で研究や臨床を進める能力
- (5) 適正な研究手法により得られたデータに基づいて研究論文を論理的に作成する能力

〔医科学専攻（修士課程）〕

医療系研究科医科学専攻（修士課程）では、先進的な医科学の知識と技術を備えた教育・研究者及びチーム医療に貢献できる高度専門職業人の育成を目的としています。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 専門領域の基本的な知識を持ち、その領域の研究動向を把握
- (2) 必要な研究手法
- (3) 医科学研究や医療技術の専門家としての倫理観やコミュニケーション能力
- (4) 研究チームの一員として自分の研究課題について研究を立案・遂行する能力
- (5) データに基づいた論理的な学術論文の作成

[医学専攻（博士課程）]

医療系研究科医学専攻（博士課程）では、倫理に裏付けされた学識と独創的な研究能力を持つ教育・研究者及び先進医療を担う高度専門医療人の育成を目的としています。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 専門領域の全般的な知識と最新の国際的研究動向の把握
- (2) 先端の研究手法
- (3) 医学研究や医療分野のリーダーとして求められる高い見識と倫理観とコミュニケーション能力
- (4) 研究チームのリーダーとして医学研究の立案遂行
- (5) 国際的なレベルの学術論文の作成、出版

④学位論文審査基準

○医科学専攻（修士課程）

医科学専攻（修士課程）の学位論文審査は、医療系研究科における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、審査委員会（主査1名、副査2名以上）が、以下の項目を審査の基準とし、論文発表会において論文審査を行い、審査報告書を作成する。学位審査の最終的な合否判定は、審査報告書に基づいて、研究科委員会において決定される。なお、学位申請条件等の詳細については、医療系研究科学修要項（シラバス）掲載の「北里大学大学院医療系研究科課程修士の学位に関する取扱内規」に記されている。

学位論文審査基準項目

論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

専門領域の基本的な知識を持ち、その領域の研究動向を把握している。

自分の研究課題について研究を立案・遂行する能力を身につけている。

研究データや解析結果を正しく評価し、結論を導いている。

得られた結果と残された課題について考察できている。

研究倫理を遵守している。

チームの一員として働くためのコミュニケーション能力を身につけている。

○医学専攻（博士課程）

医学専攻（博士課程）の学位論文審査は、医療研究科における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、審査委員会（主査1名、副査3名）が、以下の項目を審査の基準とし、論文発表会において論文

審査を行い、審査報告書を作成する。学位審査の最終的な合否判定は、審査報告書に基づいて、研究科委員会において決定される。

なお、学位申請条件等の詳細については、医療系研究科学修要項（シラバス）掲載の「北里大学大学院医療系研究科課程博士の学位に関する取扱内規」および「北里大学大学院医療系研究科飛び級による課程博士の学位に関する取扱内規」に記されている。

学位論文審査基準項目

論文および口頭発表は論理的で分かりやすく構成されている。

専門領域の先端的な知識を持ち、その領域の最新の研究動向を踏まえた研究計画に基づいている。

先端的な研究方法を用いた研究プロジェクトを立案・遂行する能力を身につけている。

研究の方法と内容に新規性があり、国際的な評価に耐えうる水準に達している。

自分の研究課題の今後の発展についての明確な展望を持っている。

研究倫理について十分に理解して、それを遵守している。

チームのリーダーを担うためのコミュニケーション能力を身につけている。

○論文博士

医療系研究科論文博士の学位論文審査は、医療研究科における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、審査委員会（主査1名、副査3名）が、以下の項目を審査の基準とし、論文発表会において論文審査を行い、審査報告書を作成する。学位審査の最終的な合否判定は、審査報告書に基づいて、研究科委員会において決定される。

なお、学位申請条件等の詳細については、医療系研究科学修要項（シラバス）掲載の「北里大学大学院医療系研究科論文博士の学位に関する取扱内規」に記されている。

学位論文審査基準項目

論文および口頭発表は論理的で分かりやすく構成されている。

専門領域の先端的な知識を持ち、その領域の最新の研究動向を踏まえた研究計画に基づいている。

先端的な研究方法を用いた研究プロジェクトを立案・遂行する能力を身につけている。

研究の方法と内容に新規性があり、国際的な評価に耐えうる水準に達している。

自分の研究課題の今後の発展についての明確な展望を持っている。

研究倫理について十分に理解して、それを遵守している。

チームのリーダーを担うためのコミュニケーション能力を身につけている。